

農業技術叢書

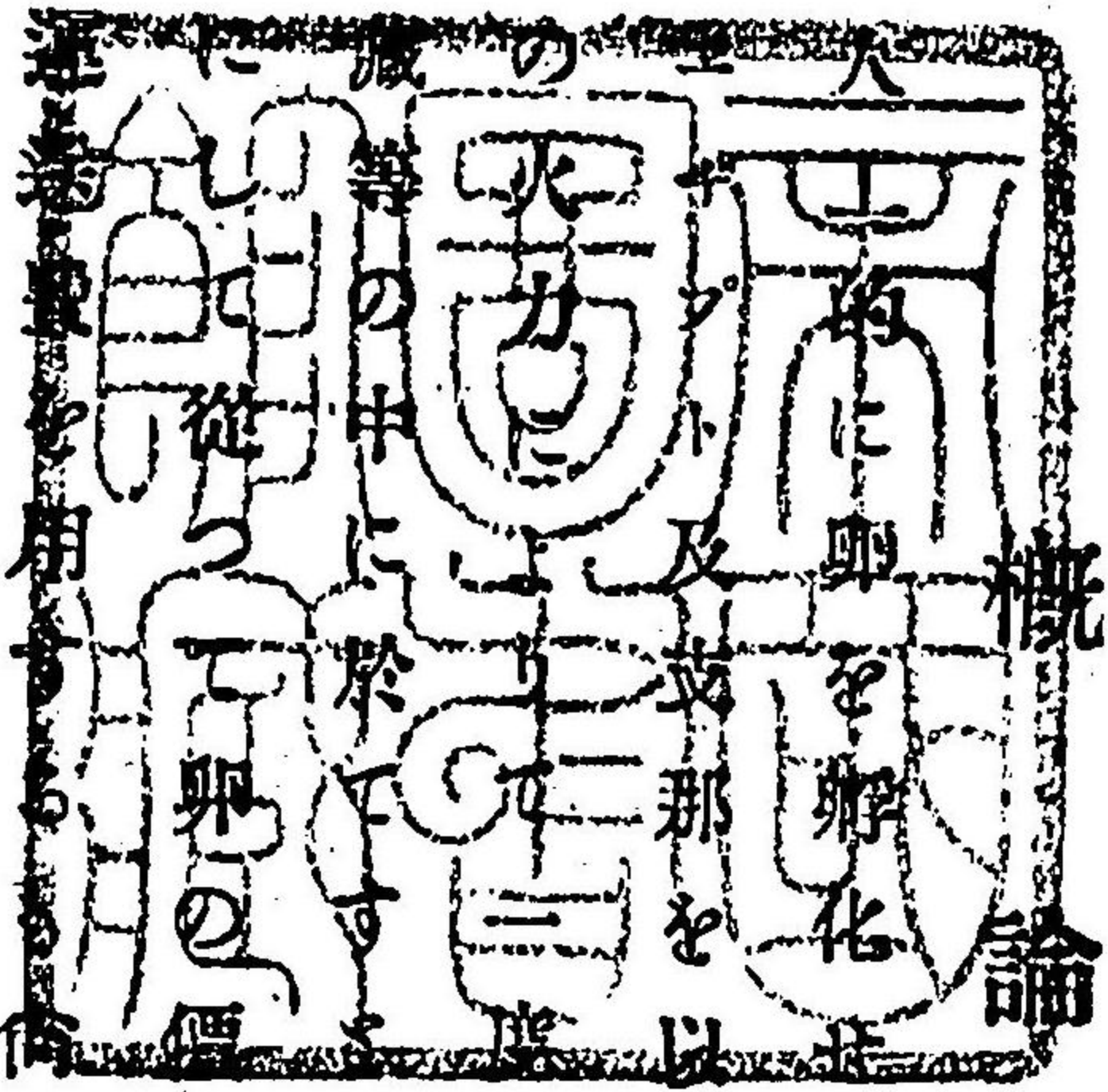
實用  
孵卵器  
育雛器  
自製製造法  
全

附通俗養雞實驗說

25

88

# 孵卵器製造法



之れ支那の養鶏業盛んにして其法方の宜ろしきによるものなり

人工にて孵卵せしむることは熟練を要することなり我國に

概論

今8  
5  
4  
内交

ては現今漸く發達し未熟の人と雖も孵卵せしむることを得べき器械を製造するに至れり  
 或は云ふ孵卵器によりて孵卵したる雛は虚弱なりと之れ經驗なきもの言なり注意して孵化せしめたるものは却つて母鶏によりて孵卵せしめたるものより健全なり母鶏を用ふるときは母鶏の羽蟲が雛に移りて爲めに害せらるゝこと往々あり且つ粗暴なる母鶏は抱卵の三分の一位ひ破損せしむる故一概に論すべきにあらずよろしく熟練を重ね好成绩を得て以て我國養鶏業をして益々隆盛ならしめむことを希望して止まざるなり

## 人工孵卵

今先づ母鶏の孵卵するを觀察するに産卵或る度に達すれば就巢を始む就巢中の有様を検するに孵化に必要な件々左の如し

- (一)母鶏の体温は百〇〇度より百〇五度なり此の温度にて卵を暖め約三週間にして孵化するものなり
- (二)抱卵中時々嘴を以て卵を反覆して卵の各部に温度を均一に與ふるものなり
- (三)卵に己れの体より蒸發する濕氣を供給し卵の水分の發散を防ぎ且つ少量の脂氣を分泌して水分の逸去を防ぐものなり

(四)母鶏は時々巢を離れて卵に新鮮なる空氣を供給し少時にしてまた就巢するものなり

孵卵器は温度と濕氣とを適當に人工的に卵に給ふる仕組に製作したるものなり故に孵卵器を製作せんとする人は以上の四ヶ條の要件を心得之れと同様要件を具ふるものを製しなば其成效や必せり

而して火力は間接火力によるものにして先づ火力により水を暖めその温度を利用するものなり

孵卵器の大体を述べ製作者の注意をなさん

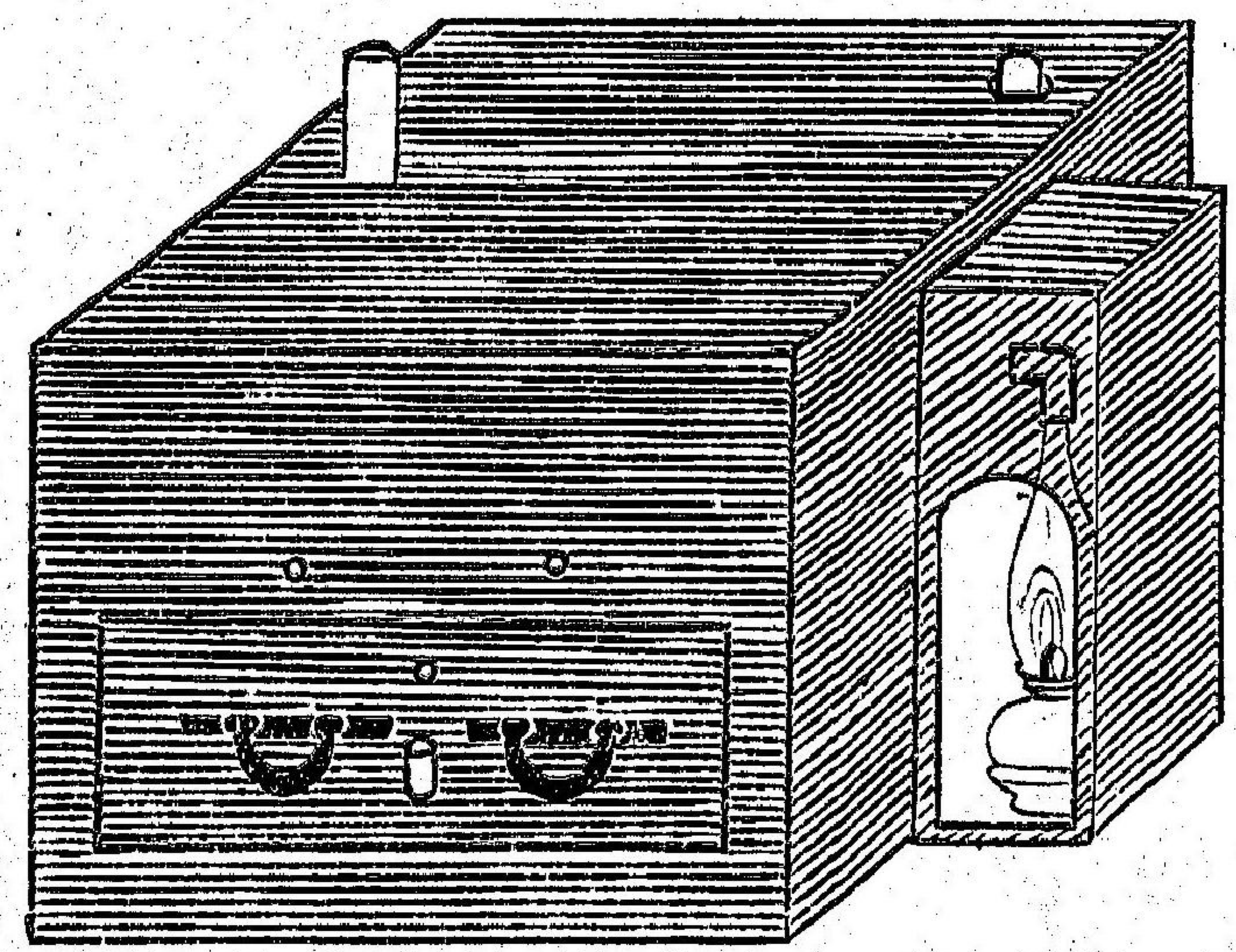
板にて密閉せる箱を作り其内に湯罐を設置し湯罐の内部を通貫する筒を附し筒の一端にランプのホヤをさし込みホヤより發する熱氣によりて湯罐の湯の冷却を防ぎ湯罐の熱に

より湯罐より二寸ほど下の所に並べ入れたる種卵に給温するなり卵の並べてある所より一寸五分計りの所に水盤を置き水蒸氣を發散せしめ卵に水分を供給するなり

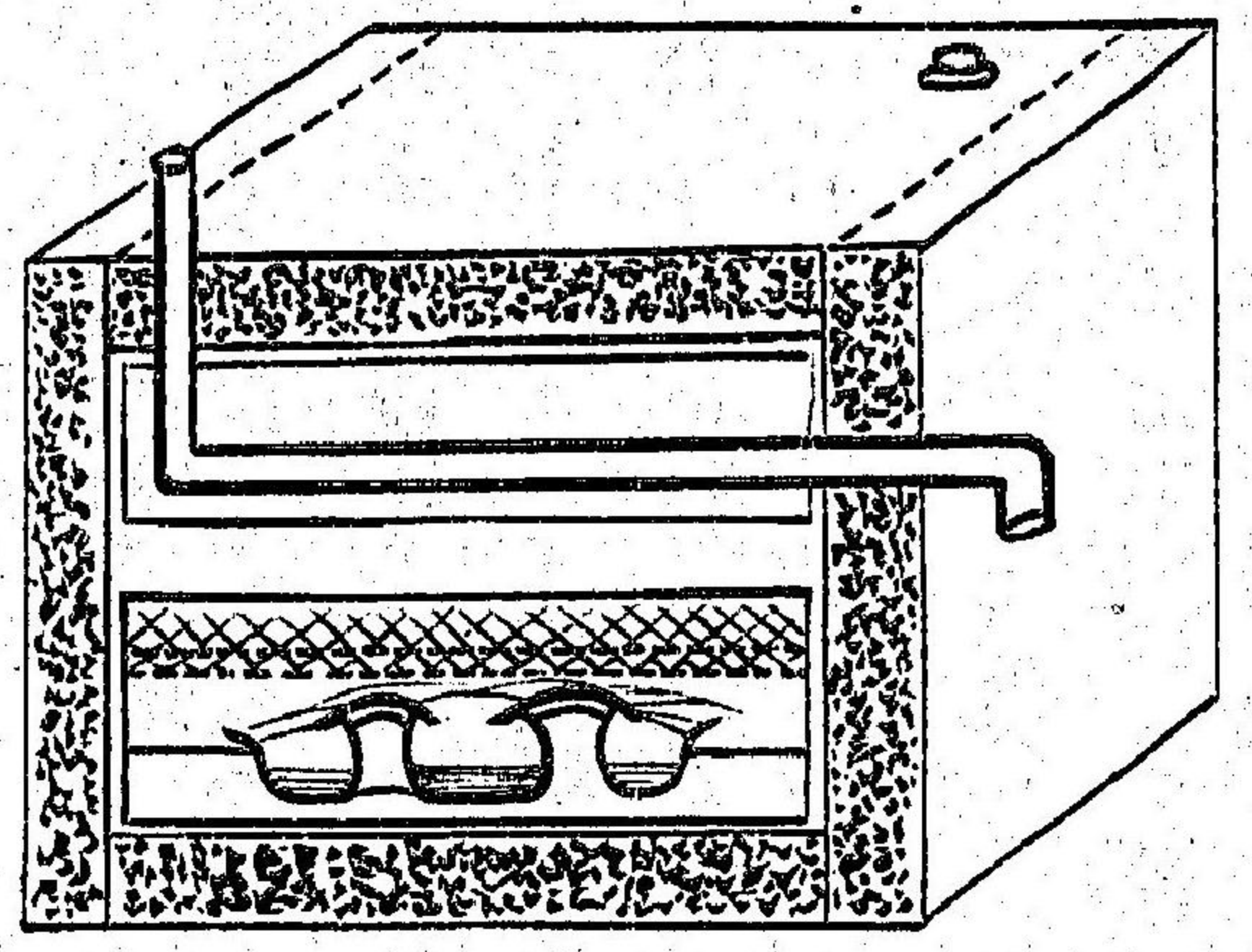
卵を列ふる所と水盤とは一つの抽斗となし時々引き出して新撰なる空氣を通し且つ卵を反覆するに便にす

箱は總て密閉を嚴にし抽斗の如きも細隙には布を以てつめ細隙の上には別に板を被ひて熱の發散を防ぐ又外箱は上下並に四側は二重張りとなしこの二重張の間には鋸屑或は毛綿等を填充し置くべし然らざれば箱内の温度一定し難し抽斗より下底に至る間を五分位ひ明けて二小管を以て外界に通じ空氣を流通せしむ

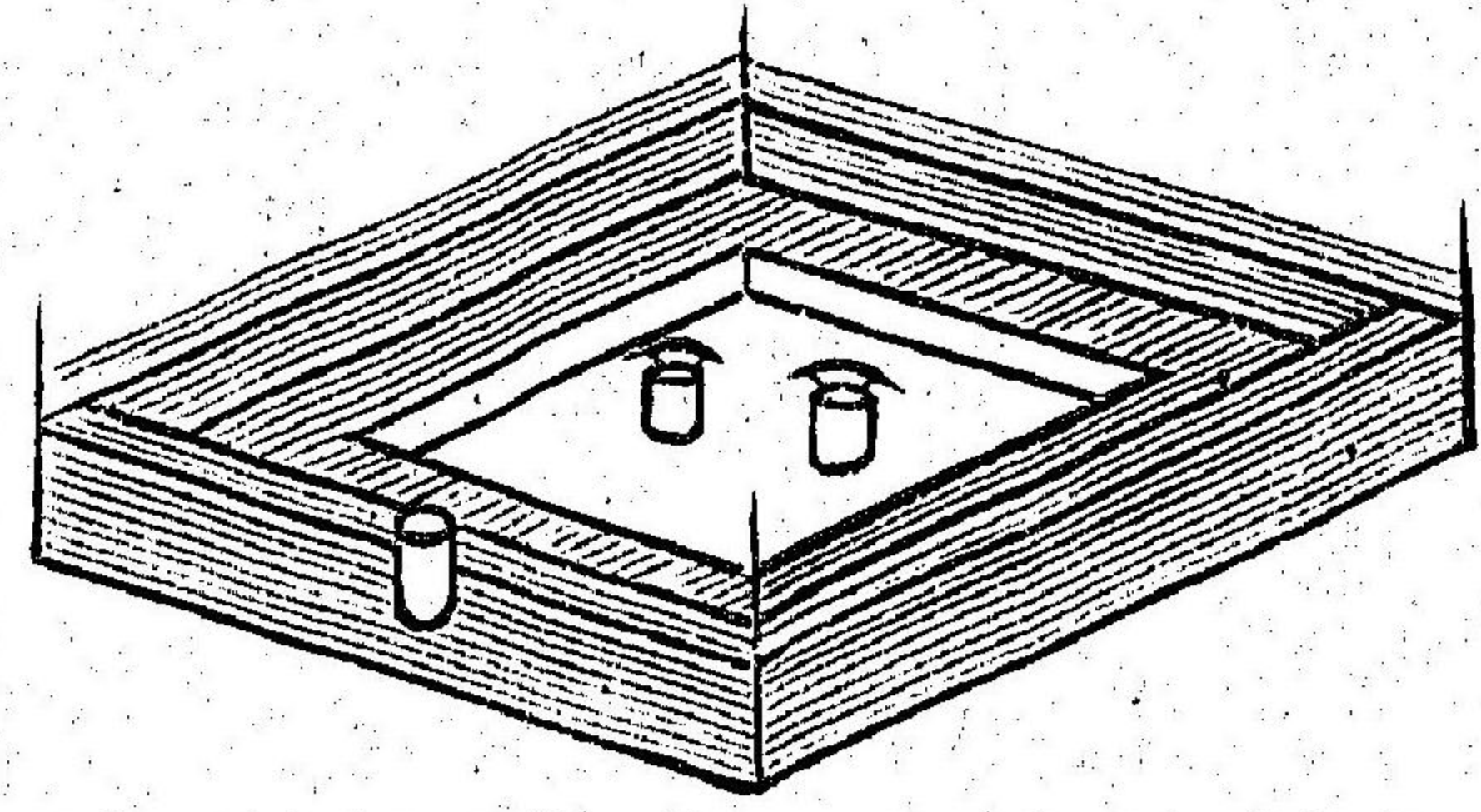
第一圖



第二圖

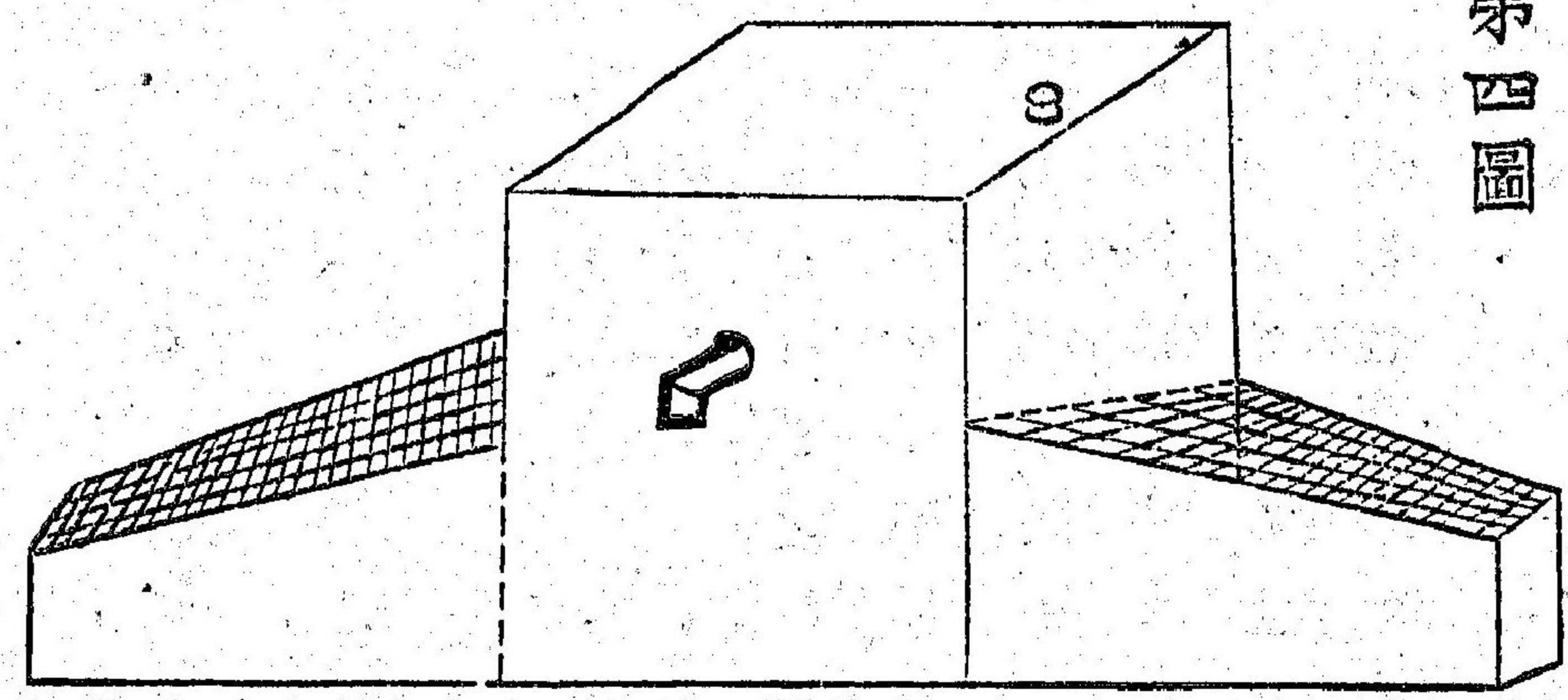


第三圖

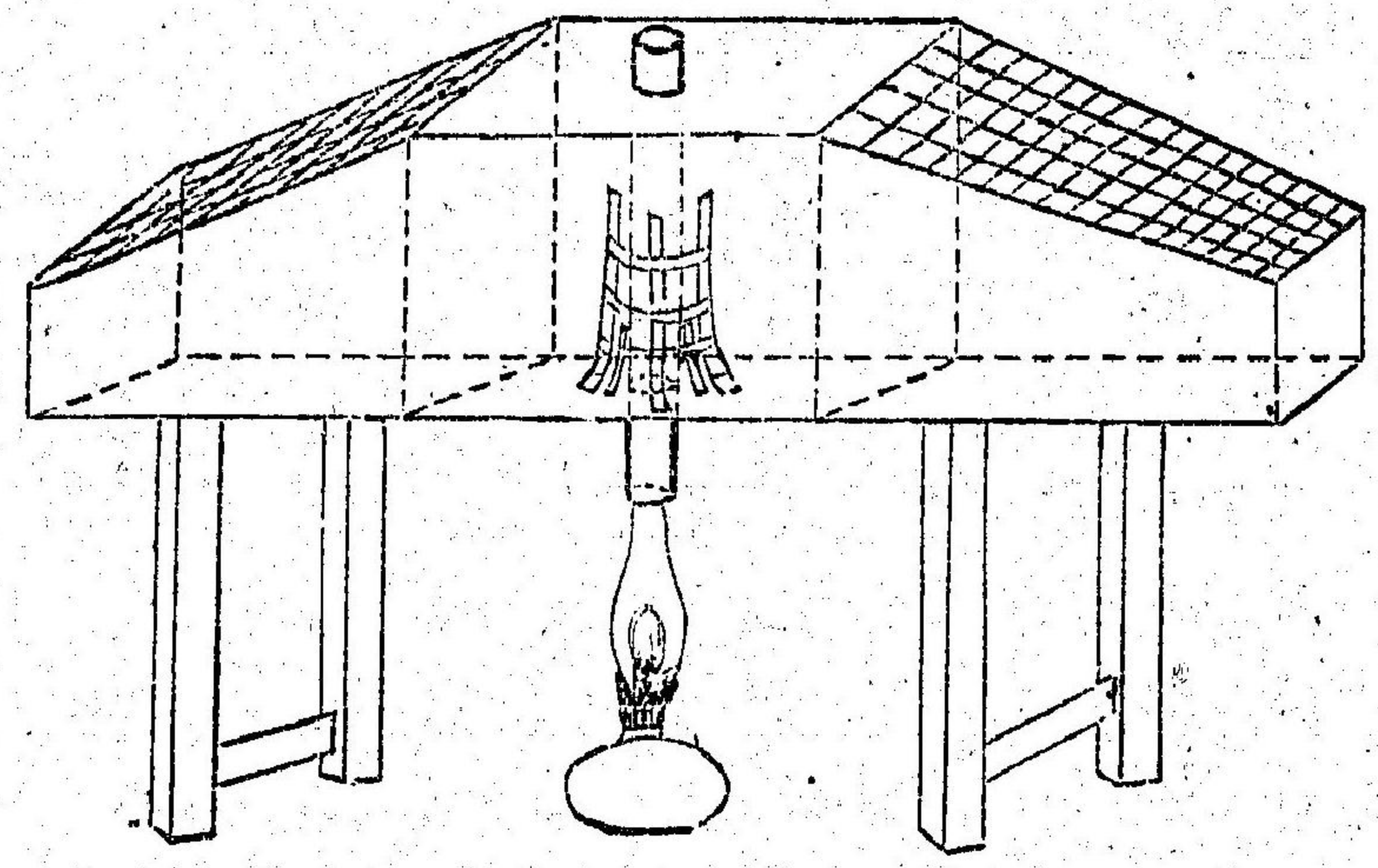


六

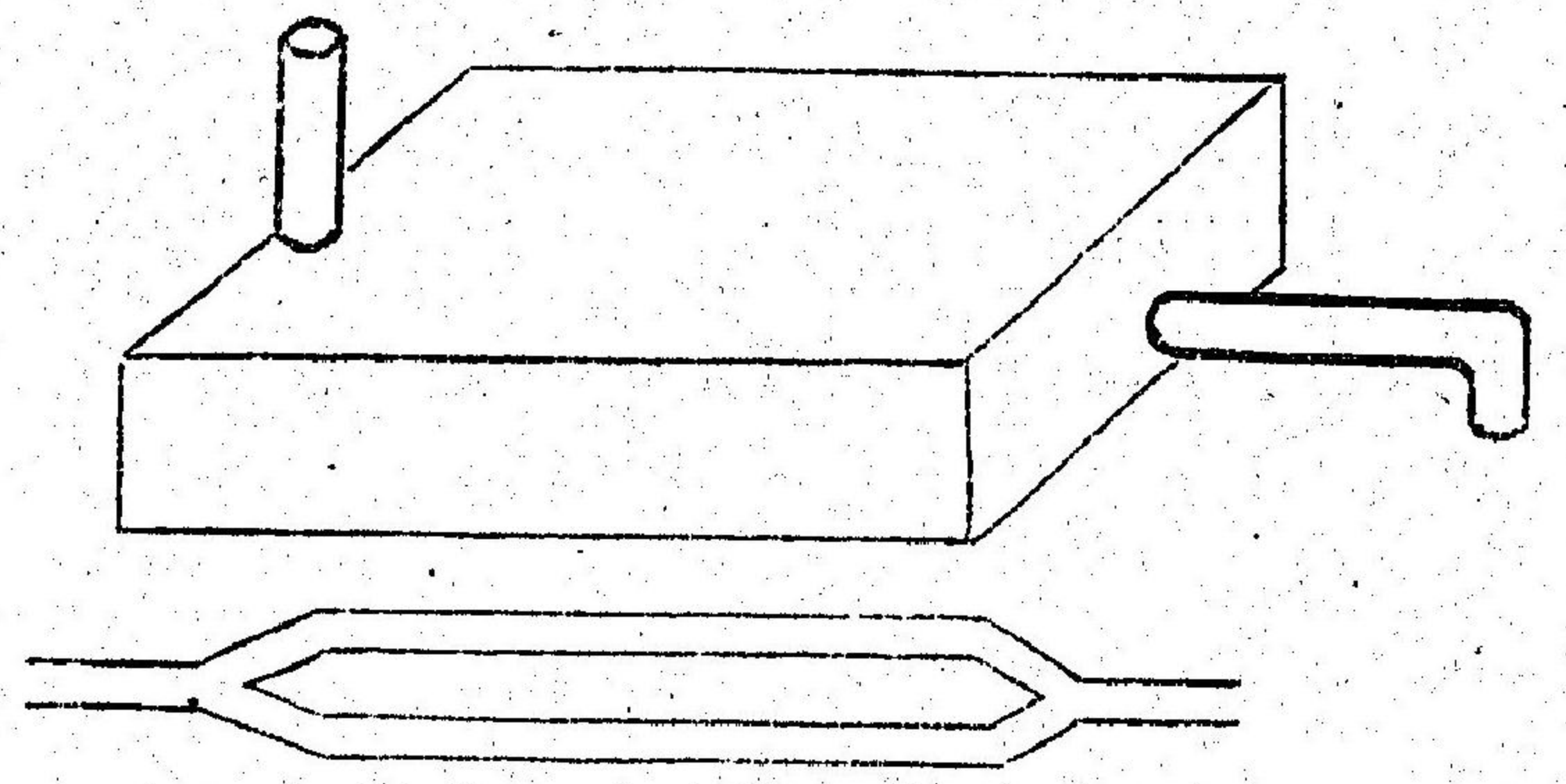
第四圖



第五圖



第六圖



人工孵卵器第一二三四五六圖

七

### 孵卵器の構造及び組立(第一第二圖)

孵卵器には大小種々ありて普通商店にて販賣するものは百二十顆入、六十顆入、三十顆入等なり其構造種々ありて何々式或は何々孵卵器と稱すれども各々大同小異なり中には不完全極まるものもあり又綿密を極むるものは均温器等を附せるもあれど之れ實地に使用して功あるもの少なし是れが爲めに却つて不注意を生じ遂に失敗する恐れあり決して均温器等に温度を一任するが如きことあるべからず故に本書には均温器の事を説かずいやくも孵卵器を使用して孵化せしめんとする士は養鶏を一業となさんと欲せるなりされば孵卵器使用に一人を托するも可ならん僅か一時半乃至二時

間毎に温度及乾濕を計る手数を除き大なる失敗に陥らざることを切望する所以なり  
 自宅にて製作するには大小各自望む所に從ひて適宜に構製せらるべし茲には便宜上顆数を定め之れが組立を説明すべし  
 今卵百二十顆を入れるものを製作せんには前幅二尺五寸奥行一尺八寸高さ一尺六寸なる正味六分板の箱を作り上下四側を總て二重張りとなし此の二重の間を一寸七八分となし之れに鋸屑或は綿等放熱を防ぐものを填充す底の二重張の上五分までを空虚とし其上に深さ五寸なる抽斗を作り卵室及水盤室となすこの抽斗の上二寸の所より上に深さ四寸(或は四寸五分)長幅は箱より五分計り短かき湯罐(どうこ)を設く

湯罐は亞鉛びき鐵板(ナマコ板)或はブリキにて製し上下四側共に密閉したるものにして湯を入れ卵に間接温度を給する者なり之れをブリキにて作るときは至つて廉價に製作し得べきも永年の使用に堪へ難き患ありされど二三年間の使用には之れにて充分なり  
六十顆入は前幅二尺二寸奥行一尺五寸高さ一尺六寸となし構造は總て百二十顆入と同様なり  
三十顆入は前幅二尺、奥行一尺三寸、高さ一尺六寸となし  
となし構造總て前述のものと同じ  
以下各部に就き詳説せん

### 卵室及び水盤(第三圖)

卵室と水盤とは一個の抽斗とす即深さ五寸なるを以て上より三寸の處に金網を張る金網の目は五分位ひのものとする之れ即ち卵を入れる、所なり金網の下一寸二分の處に板を張りつめ中央に横一尺二寸幅一尺に切り抜き之れと同寸にして深さ一寸なるなまこ板製の水盤をはめ水盤には相當の距離をへだて、二個の孔をあけ筒を附けて箱の下層と通じ下層の空氣をして上に通せしむ筒の長さは一寸とし其上に蓋を附す但し空氣の流通をさまたげざる様になすべし然して針金にて水の上に被ふ布をして水に浸せざる様に十文字に多く張り置くべし筒と水盤と附着せるところは水の漏れざる

様に附けざるべからず水盤の底より前面に箱の外に通づる一管を設け管の端を漏斗となし之れより水を水盤に注入す又此所にて水の多少を見るものなれば水平に作らざるべからず

引出の前面には引出より五六分四方に廣く一枚の板を付け引出の透間を被ふ故に入卵の時には薄き布をはめて引出をへむるものとす

抽斗の中央上部に一個の孔を設け卵室に達せしむ此の孔に細丸寒暖計を差し入れ卵室の温度を検するに供す抽斗の前面は二重張りとなし外箱と同様になし置かざるべからず因て穿てる孔には適當の管或は竹筒をはめ置くべし

### 湯 罐 (第四圖)

湯罐は上下四方共に張りつめたるなまこ板の罐とす此の罐は深さ四寸幅と横とは外箱の中に納る様に作る但五分位隙ありてよし百二十顆入なれば前幅二尺奥行一尺五寸高さ四寸(或は五寸)となす而して罐の中に直径一寸乃至一寸五分の管二條を通貫す是等の管の中をランプより發する熱氣を通過せしむるものなれば湯の浸入を防ぎ且つ管の湯罐の側を通過せる所は湯の漏出せざる様に作らざるべからず管も亦なまこ板にて作るものとす二條の管は終始二條となすにあらず箱の外のランプのホヤを挿込む所は一本の管となし湯罐の中に入りて凡そ一寸位ひの所より分岐して二條となり



之に對する側の一寸程内にて合して一本の管となり上向して外箱の外に達して煙を排出す

此管の外箱の右側に置けるランプのホヤを挿込む所は管下方に曲りてホヤを被ふ而して管の他端は外箱の右側を通貫して内部に入り二條に分岐して湯罐の中央を底面より一寸位の所を通過して左側より一寸位の所にて又合し屈折して内部を上進し遂に外箱の上面の外に至る又罐の上面の隅に一管を通じ端を外箱の上面に出してこれより湯罐に湯を注入す又湯の減量を知るにはこゝに木竹等を差し入れ其濕る所を見て知るべし

#### ランプの裝置

ランプの長くしてホヤを挿入れに困難なる場合には孵卵器

を臺にのせ高くすべし又ランプの長さ短きときはランプの下に適當なる板を積みて高くすべしランプを置く處は孵卵器に附けて箱を作り前後兩面は半分以下を切りとり空氣の流通及び燈火を視るに便にすランプを其儘にて出し置へ事は危険なり

#### 備考

若し孵卵器大にして溫度昇高し難き場合等には湯罐を左右に通貫する管二條を設け一は右のランプの熱氣を受けて左に排出し一は左のランプの熱氣を受けて右に排出せしむかくランプ二個を用ふれば高温を保つべし

## 材 料

百二十個入孵卵器製作に要する材料及び費用大略左の如し  
 木板 一尺幅なる厚さ正六分の板 十枚  
 此代價一枚廿五錢と見積りて 二圓五十錢  
 なまこ板 半坪此代價 八十錢  
 外附屬品 金網、引手鋸屑、此代價三十錢なれば充分なり  
 以上の者の外は入用なきを以て總て材料に三圓六十錢を費  
 せば充分にして餘りあり之れを職人に依頼すればいさゝか  
 高價となるべきも六圓に及ぶことはあらざるべし又なまこ  
 板の變りに石油罐のあき等(ブリキ)にて作るときは一層廉價  
 にて製造し得べし

板は地方は安價にして且つ持ち合せもの等之れあるべけれ  
 ば是れを使用しなば至つて便利なるべし只板は生木のもの  
 を忌むべし充分枯れたる板を用ふるものとす  
 六十顆入 なれば板の如きは六枚半なれば充分にして他の  
 諸品も少し宛安價となるべし  
 三十顆入 なれば板は五枚なれば足りるを以て安價に製し  
 得べきも他の諸品並に手間等には大差なく却つて面倒なる  
 ものとす  
 此外買入るべきものは寒暖計一個なりとす此の代價凡そ一  
 圓五十錢と見れば充分なり

## 育雛器(第五圖第六圖)

育雛器は孵卵器と同じ様なるものを作り給温器にて給温す又給温器の冷却を捕ふにはランプの火力を用ふ給温器の下は空虚(孵卵器の抽出を取り除き四側共に張りつめたるが如くに)となし此所を温室と稱す其前後に長さ一尺四五寸幅温室の幅と同寸高さ七寸の箱を附け運動場となす運動場の上面は針金を張り雛の飛出でざる様になす然して此運動場と温室との隔には穴を明け雛の出入を自由ならしむ此穴は數ヶ所に設けざるべからず温室には小さき穴を所々に設けて空氣と日光とを通せしむ尙左に輕便なる育雛器の製造法を述べん

高さ一尺幅一尺長さ三尺なる木の箱を作り長さを三つに板にて仕切りをなし箱を一尺四方づゝあるものに三分す其中央なる室を温室とし他を運動場とす温室の構造は其底面の中央部に穴を穿ちブリキ製の筒を通じ筒の一端は底面より下へ二寸ほど出しこゝにランプのホヤを挿込み火熱を温室に與ふるものなりされば箱には脚を付け下にランプを置くことを得る丈けに高くす筒の他端は箱の上面まで真直に達して然る後曲りて箱の内側を上面に沿ひて後方の仕切りまで達して上向し上面の外に出て煙を排出す温室の中部を直達せる筒の周圍を一寸ほどはなれて木柵にてかこむ之れ雛をして燒傷をなさしめざる様にする爲めな

り故に決してこの柵には竹を用ふべからず  
 温室と運動場とは穴を通じて雛の出入を自在にならしむ穴  
 は數個を穿ちて多數の雛の出入に防げざる様になすべし運  
 動場の上には針金を張り雛の飛出を防ぐべし雛の數の多少  
 に従ひ大小適宜に製造すべし又早く孵化したるものは輕便  
 育雛器に移し孵卵器の卵皆な孵化したる後は孵卵器を利用  
 して別の育雛器を作らざる様に工夫すれば甚だ便利ならん  
 育雛器を使用するは七日計りなれども此間は雛の發育に最  
 も堅要なる時なれば不具鶏不發達鶏の生せざる様注意して  
 育雛器を製作すべきなり

### 孵卵器の使用法

孵卵器の使用法は至つて簡易なるものなれば老人婦人にて  
 も使用することを得之れを使用せんとする人は先づ孵化せ  
 しむるには温度と水分との供給を適當にせざるべからずと  
 云ふことを念頭に置き然して左の諸項を詳讀し置くべし  
 給温 最初孵卵器の上面なる筒口より沸騰せる熱湯を注入  
 して給温器に充たしむ斯く熱湯を入れるは最初は箱が冷た  
 きを以てなり然して後に側面なる筒の下方に向へる口に點  
 火したるランプのホヤを挿込み湯の冷却を補ふ温度は卵室  
 をして常に百〇三度ならしむべし  
 水盤 卵を入れる所の金網の下なる水盤には清水を二分通

り入れ其上に麻の布を被ひ置くものとす但し水に浸らざる様に針金を張れる上に被ふなり之れは水分を卵に直接に達せしめず卵に平均に水分を與へんが爲めなり然して水は蒸發して日々に減するを以て毎朝減じたる量だけ清水を注入すべし水を入るゝには抽斗を抜き出さずして引出の前面なる注入口より入るゝものとす水盤の水の多少を知るも亦此處にて見るものなり

卵室 卵を入るゝところは引出の金網の上とす即ち金網の上に麻布を布き其上に藁の袴を柔らかくして一面に敷きて卵を置くべし卵と卵とは觸れしむるべからず又卵は横に安置するものとす入卵せんとすれば一日前湯罐に湯を入れランプに點火し火力を加減して温度を百〇三度に保持せしめ

一定して變せざるに至りて始めて入卵すべし入卵する卵は新撰なるものを撰び微温湯にて丁寧に洗ひよく汚物を拭ひ去るべし若し汚れたるまゝにて入るゝ時は卵殻の小孔を閉塞して空氣の流通を妨げ胚子の發育を害しました衛生よりも害ありと云ふべきなり

温度は百〇三度を適度とす第十日目よりは百〇五度となすべし之れより稍低きは害少なけれども少しにても之れより高温なる時は大に害を及ぼすものなり

温度は攝氏にて表はせしものなり或は誤解せらるゝ人あらんを慮り念の爲めに記し置く

空氣の新陳 入卵後三ケ日は凡そ六時間毎に抽斗を引き出して五六分間空氣に觸れしむ此際外氣の温度は五十五度よ

り以上ならざるべからず之れより冷たき時は害ありと知るべし

第四ケ日目より第六日目までの間は毎日二回若しくは三回外氣に凡そ十分間位ひ觸れしむ

第七日目より第十日目までは毎日二回づゝ外氣に凡そ十五分間計り曝らすべし

第十日目より以後は一日一回づゝ外氣に二十分間計り觸れしめ孵化するまで繼續して行ふべし

かゝる故を以て孵卵器を設置せる室内の空氣は常に清靜ならしめ温度も亦寒冷ならざる様注意すべし

卵の反覆 卵を空氣に觸れしむる度毎に卵を上下左右に反覆轉換す即ち一度に四分の一づゝ反覆すべし之れ卵の各部

をして一樣に温暖ならしむる爲めなり故に反覆するには時間を定めて行はざるべからず自然空氣を新陳する時間も定まるべし第十日目よりは空氣に觸れしむる度少なきを以て時間を定め抽斗を引き出し卵を反覆し速かに抽斗を閉づべし

吹霧 入卵して後一週間目より一日一回晝間に於て卵の上に霧を吹き或は微温湯の中に浸すべし是れを行ふに當りては時刻を定めてなすべし二週間目よりは一日二回時刻を定めて吹霧を行ひ或は微温湯にて洗ふべし之れは孵化するまで行ふべきものとす

檢卵 第七日目頃に於て一々卵を檢查し孵卵せざるものを取り除く其法は厚紙等にて直徑一寸位ひにして長さ二寸位

ひなる筒を作り卵を縦に(先の鈍圓なる方を上に尖れる方を下に)して筒口にあてはめ太陽或はランプの光に照して筒の他方の口より窺見す(頭に黒き布を被りて卵のみに光をあて他は暗黒ならしむれば一層よく辨明す)る時は中央に點ありて之れより蜘蛛の肢の如き線四出するものを認む且つ卵を少し動搖すれば此のものも幾分動くべしかゝる卵は生氣ある卵にして孵卵に見込あり反之生氣なきものは卵の中にかゝる線ありとも卵を搖りて動かざるのみならず多くは卵殻に附着し居るものなり又初めより生氣なきものは通常の卵と異なることなく透明にして變狀なしかゝるものは速に取り除き食用に供すべし

又二週間目に於て檢卵を行ふ二週間目頃は最も腐敗卵破卵

多きを以て速かに取り除かざれば良卵を害し毒氣を發散する患あり此時筒によりて窺視するときには既に變狀をまして卵の上部の空虚なる部の三日月形に見へ或はサカズキ形に見ゆるものは必ず孵化すべし

生氣なきものは一々取り除き且つ腐敗せるものは卵の全部暗黒にして前述の如き線或は空虚を認むる能はざるものなるにより速かに取除すべし

空虚の部は日を増すに従ひ大となり十六七日目頃には雛の形をかすかに認むべし

孵化 十九日目位ひに卵を検すれば殻に小さき穴を穿てるものあり之れ間もなく此處を食ひ破りて雛出づるものなれば斯如き穴を穿てるものを見出すときは穴の方を上にして

霧を吹きかけ置くべし

鶏は自ら殻を破りて出づるものなれば決して人の力にて殻より取り出すべからず殻より出たるものは羽の乾くまで其儘になし置き手を觸るべからず羽の乾きたるを見計らいて育雛器に移すべし

ランプは怠らず掃除をなすべし眞は五分以上にしてなるべく丸眞をよしとす持ち合せの品を用ゐてよし別に買入する場合には丸眞の竹ホヤにして石油二合餘を容るゝことを得るものを求むるを便とす

## 孵卵の時節

孵化せしむる時節の如何は大に鶏の成長強弱産卵の多少人力の難易に關係するものなれば宜ろしく其時節を撰定せざるべからず

孵卵の時節は春季を以て最良時節とす春季に孵化したる雛は其發育成長共に速にして成育するに容易なりかの鶏に一大厄期なる梅雨の候には既に稍成長せるを以て其陰鬱と濕氣とに抵抗し斃るゝもの少なし然して雌鶏にありては未だ寒冷とならざる前に産卵を始むるを以て産卵を容易にし冬季に至りても絶へず産卵すべし夏季は最も不良なる期節とす孵卵初夏にありては雛は氣候不順なるが爲めに其發育を



害し加ふるに梅雨の候に入りても幼少なるより濕潤の爲めに斃さるゝもの多し晩夏の季にありては炎暑の爲め其發達成長を害せらる然して産卵を始むる頃は既に寒冷にして産卵を始めず遂に翌春を待ちて始むるに至るべし

秋季は第二の良期節なりとす發育成長共によるしく換羽期には既に産卵を休止せる時なればいと好都合なり

冬季に孵化せるものは氣候寒冷なるを以て雛をして寒氣に觸れしめざる様に充分なる注意を施すべし故に大なる人力を用すされど發育は速にして中途にして斃るゝものも少し雌鶏は産卵を始めて間もなく換羽期に際會するを以て好ましき季節にはあらず

### 育雛法

孵化したる雛は暫らく孵卵器に置き決してたゞちに手を觸るべからず雛自身が運動し始むるに至り始めて育雛器に移すべし育雛器には常に百度を保たしめ温度の變化せざる様に注意すべしかくして暫く置く時は雛はしきりに運動し假母器の運動場に出で走り廻る茲に於て水を與ふれば喜びて飲水す卵より出で、凡そ二十時間或は二十五時間後にして食餌を與ふ而して初め雛が蟹糞をなすときは急ちに食餌を與ふべし食餌は卵化せざりし卵或は湯煮したる卵をよく碎き麵包屑或は燕麥大麥等の粉と捏りて與ふ又肉類を細かにさざみて混じて與ふるもよし育雛器に移してより五日にし

て戸外に出す但し日中の暖きときのみとす濕氣寒氣甚だしき時は外出せしむべからず孵化後二週間は一時間毎に食餌を與ふべきも飽食せしむべからず然して一ヶ月間は米糠一升に米の粉五合肉片五十目青菜若干を混じ摺餅となして與ふべし一ヶ月後は碎米碎麥肉片青菜等を撒きて與ふべし鶏の發育迅速なり鶏は生れながらにして慈母の哺育によらずして自ら食ひ成長するものなれば雛の食餌を食ふや極めて上手にして決して決して人力を憚やますものにあらずピヨピヨと啼きて輕捷なること實に驚くべきなり食物は總て消化し易くして滋養分の多きものを撰ぶべきは勿論なり飲水は新鮮なるものを與へ食器具は常に清潔ならしむべし尙又空氣の流通をよくし濕潤を防がざるべからず時々新鮮なる綠菜を

細かに切りて與へ始めの内は摺り潰して練餌に混交して與ふるを可とす又時々肉食せしむべしかくして漸時成長するに従ひ硬きものを與ふべし雛の間は殊に猫犬等の外敵の侵入を注意せざるべからず

食餌は獸鳥魚類の頭尾鰭腸臟腑等を煮出し其汁を以て米粉麥粉米糠等を練餌となし與ふるを可とす又肉汁の變りに或る時は牛乳にて練り與ふれば一層よし

肉類を與ふるは一日二回位ひとし川魚の乾かしたるものを細かに刻み一羽に付き一度に一匁計りを與ふ

練餌の硬さ加減は辛じて團子となし得る位ひを定度となすべし硬に過ぎまた軟に過ぐべからず又少しにても早く孵化したるものは後に孵化したるものより勢力大なればすべて

後生のものをしのごて食餌等に至りては殆んど後生のものに與へざるを以て前者は飽食の爲めに後者は寡食の爲めに發育成長を害す故によく注意すべきことなり  
 戸外に運動せしむるにも餘程注意を拂ひ其柔軟なる體軀をして負傷せしめざる様になすべし極めて挫折瘡傷し易きものなり雨天の翌日はなるべく戸外に出すべからず空氣中に濕氣多ければなり且つ水溜に倒るゝことあれば注意すべし  
 雛の箱には柔らかき藁或は糠等を入れ濕氣と寒氣とを防ぐべし然して不潔とならざる様に常に掃除を怠るべからず一週間後育雛器より出し時に就かしむ  
 鶏は孵化後種類によりて異なれども普通百六七十日にして産卵を始むるものなり然るに雛にして早く交尾するものあり

りかゝるときは雌雄を別ちて其情を減せしむべし然らざれば雛弱小となり遂に強大なる鶏を得ること能はず又産卵を中止すること多く従つて産卵數少なきに至るべし

## 種 卵

三十六

牝牡接せずとも産卵す然れども相番はざる卵は決して孵化するものに非ず相番ひたる卵と相番はざる卵とを直ちに識別することは今日にては不可能なることなり故に完全なる種卵を得んと欲せば二三歳にして體質強健なる牡鶏（トウ）一羽に其最も愛慕する處の牝鶏を撰擇して牝二乃至三羽を配合し決して夫れ以上の牝鶏を配偶すべからずかゝる配合間に産したる卵子は必ず有精卵にし孵化すること確實なり種卵は手柔らかに取扱ひ貯藏するには紙に包み箱に一個づゝ卵の丸く太き方を下方に細く尖れる方を上に向け糠粃等の中に埋めて動搖せざる場所に貯ふべし貯藏に用ふる箱は丈け二寸横一尺五寸縦八寸のものを用ひ薄板にて方形五十に區劃し一箱五十個入とするを最も便なりとす種卵とするものは産卵後二週間までのものを採用すべし二週間以上経過したるものは孵化し難し

## 種卵雌雄鑑定に就て

種卵を孵化せしめたるとき多数の牝を得んとするは一般に養鶏家の望む所なり果して其の初め卵なる時に於て豫め雌雄を定め得ば其利益尠なからざるなりされど古來より種々なる説あれども未だ完全なる識別法なし或は謂ふ卵裏の空窠多大なるは雌にして小なるものは雄なりと又謂ふあり卵形の長きは牡にして其短きものは牝なりと然れども實驗によれば決して上規に従ふものに非ず空窠の大小は母鶏の食飼如何によれることを發見せり卵形の長短は牝牡に關係せるが如きも未だ其長短のみにて判明し得難し茲に實驗上に好成绩を表はせし一説あり即ち卵の産出

の前後によりて牝牡を區別する法あり總て産卵には第一期第二期と順を逐ふて期畫するものなりミノルカ、アングルシヤン、レゾホン等は大概一腹として廿一二顆を繼續して産出するものなりブラマ、パアヲーピン等にては十四五顆なるを普通とす此の一腹の産出の前後によりて區劃するなり即ち今一腹廿顆を毎日一顆づゝ廿日間に産み終りたりとすれば前半期即ち産み初めより十日目までの十顆は牡八羽牝二羽十一日目より廿日目即ち産終日までの後半期に産みたる十顆は牝八羽牡二羽の割合に出ずと是れ殆んど確實なるが如し宜ろしく養鶏家は此の法に則り孵卵せしむべきなり又種卵を検し卵の表面に荷葉線の如き筋あるものは是れ孵化するものに非ず其筋たるや針にて押したるが如き微細の

ものなれば凸眼鏡にて視察すべし卵の兩端共に尖り上下を認むる能はざるもの及び同じ一腹の中特別に驚くべき偉大なるものあり之れ決して孵化するものに非ず卵の中程の處に瘤の如きものあるもの又小糠程の白點の點々あるものは種卵となす可らず卵の比較的軽くして光線に透すときは混沌たる中に平等に透明なるものには無精卵多し之れ取除くべし之れに反し比較的重量重くして光線に透かし卵の中央一層の重層なるを認むる者は有精卵にして大に孵化に善良なるものなり光線に透すには多くの手数を要するものに非ず夜中にランプの火を大きくして厚紙を以て直一寸(卵を縦にしはまる様に)長さ四寸位ひなる筒を作り之に卵をはめ燈火に對し窺ふべし而して頭に黒き布を被り卵のみに光線を映せしむれば一層よく見ることを得

### 雛鶏雌雄鑑定法

牡雛は比較的頭大に嘴は長く太く脚も長く太し單冠種にありては牡は鶏冠厚大にして鋸齒深く橙色をなせり牝は鶏冠小にして鋸齒淺く葡萄酒をなせり白色を除くの外は總て色淡きは牡にして色濃きは牝なるがごとし雛の體長く且つ大にして剛強距及び爪の長大なるものは雄にして之れに反し體短小にして柔和に爪短小なるものは雌なるが如し雛の首を持ち懸垂して尾を内部即ち腹部に向つて屈するものは牡にして尾を外部即ち背に向ひ反曲するものは牝なりと知るべし以上は先づ誤り少なき鑑別法なり

# 通俗養鶏實驗說

## 鶏の種類大別

- 第一 無襟羽種 頸の上部兩耳の間に毛群なき種
  - 一 單冠にして小裂尖を有するもの  
ミノルカ種 アングアルシヤン種 レゲホーン種 プリモウスロ  
ツク種等之れに屬す
  - 二 單冠にして小裂尖を有せざるもの  
スマトラ種 馬來種等之れに屬す
  - 三 複冠を有するもの  
コサツク種 デマンド種等之れに屬す

## 第二 襟羽種 兩耳間に毛群を有する種

- 一 單冠にして小裂尖を有するもの  
コサツク種 デマンド種等之れに屬す
- 二 複冠を有するもの  
バルブ、ガンベルス種等之れに屬す
- 第三 脚に羽毛を蒙るもの
  - 一 單冠にして判然鋸齒を有するもの  
コーチン種 ランゲシヤン種等之れに屬す
  - 二 準複冠を有するもの  
プラマ種之れに屬す
- 第四 毛冠種
- 一 裸脚種

(イ) 一毛冠種

荷蘭種、パツウ種等之れに屬す

(ロ) 毛冠及肉冠を併有するもの

ラフレツシエ種、クレウケーア種等之れに屬す

第五 五趾脚種

一 單冠を有するもの

ドルキング種、フラマン種等之に屬す

二 毛冠を有するもの

ウーゲン種等之れに屬す

以上コルネ氏の分類表による

### 鶏の種類小別

コーチン種(九斤)

体格は大にして強健肥饒なり

一ケ年の産卵数は大約百十個なりとす

卵の重さは一個凡そ一匁三分あり

就巢孵卵の性强し故に集鶏に使用して善良なるものなり

需肉用並に産卵用に適す

パフコーチン、バートリツチコーチン、白色コーチン、

黒色コーチン、等あり

ラングシャン種

体格重大にして形大なり且つ強健なり



一ケ年の産卵数は百七十顆内外とす

卵の大きさは中形にして凡そ一匁三分あり

冬季に於てもよく産卵するを以て産卵用に適するものと

す又需肉用としても優等なり

黒色ラングシャ、白色ラングシャ種あり

フラム種(プラマブトラ)

体格は偉大にして強健なりよく氣候の變化に耐ゆ

産卵数は一ケ年二百顆内外なり

卵の大き中位にして一匁二分計りなるを普通とす

産卵用として最も適するものにして冬季にも産卵を経續

す又需肉用としては肉多計にして佳味且つ骨組小なるを

以て甚だ可良なるものなり

ドルキング種

体軀は重大にして強剛なり

需肉用として最も優等なるものなり蓋し管に肉量多きの

みならず肉質甚だ味美なり且つ早熟にして肥満し易し故

に需肉用としては他に此の右に出づるものなしと云ふべ

し

産卵数は一ケ年に百二十顆内外なり

卵一個の重さは平均一匁三分あり

銀灰色ドルキング、暗灰色ドルキング、白色ドルキング種等

あり

ハンバーク種

体軀は中位にして性強外觀頗る美なり又疾病に抗する力

強くしてよく氣候の變化に耐ゆる故に飼養容易なり

産卵一個の重さ平均一匁なりとす

産卵用としても適し且つ肉美味なり又外觀美なるを以て

觀賞用にも適せり

黒色ハンバーク、白色ハンバーク、銀色斑紋ハンバーク、金色

斑紋ハンバーク種等あり

烏骨鶏

体格は中位にして性質温和なり羽毛は柔軟にして絹糸又

は獸毛の如し故に卵を孵化せしむる時に母鶏として用ふ

産卵數甚だ少なく且つ卵形小なり故に産卵用に不可需肉

用としては皮及び骨の暗黒色なるを以て人の忌む所なり

孵化成育に困難なる雉子、鶉、矮鶏等を孵化成育せしむるに

用ふ

尾長鶏

体格中位にして姿勢優雅に尾長く伸長す

觀賞用として第一位を占むるものなり且つ我國固有の種

にして外人の目を驚かせしは本種なり

産卵用並に需肉用としては適せず

スバニッシュ種

体格中位にして姿勢優麗なり体細長にして頸長し

氣候の變動に抗する力弱く寒氣を恐れ強霜等の害を受く

る事易く風雨に侵さるゝこと多し又鶏冠大なるを以て冬

季凍りて夫れが爲めに死することあり

一年の産卵數百六十顆内外とす

卵甚だ大にして一個約一匁四分あり  
就巢の念甚だ薄きを以て母鶏となすに適せず産卵用并せ  
て賞翫用に適するものなり

ミノルカ種

体格稍大にして強健なり氣候の變化に抗する力多く飼育  
容易なり性順温にして姿勢美なるを以て翫賞に適せり

産卵數一ケ年二百顆内外なり冬季にても産卵す

卵は大にして一顆約一匁六分あり

産卵用として有名なる種類なり

黒色ミノルカ、白色ミノルカ、薔薇冠黒色ミノルカ、薔薇冠白

色ミノルカ種あり

アングロシャン種

体格ミノルカ種に同じく美麗にして翫賞に適す

一年の産卵數平均二百二十顆にして冬季にも産卵す

卵も大にして一顆一匁四分内外とす

産卵用として最も適す産卵の數に於ては此種に及ぶもの

は稀なり

レングホーン

体格中位にして強健なり

産卵數甚だ多く一ケ年凡百七十顆より二百顆を産す

冬季と雖よく産卵す

卵は大にして一顆一匁三分内外とす

雛の發育早くして生後五ヶ月以内に既に産卵を始む飼育

に容易なる種なり

産卵用として有名なり

褐色レツグホーン、白色レツグホーン、黒色レツグホーン、金  
黄色レツグホーン、薔薇冠白色レツグホーン、薔薇冠褐色レ  
ツグホーン、薔薇冠黒色レツグホーン、薔薇冠金黄色レツグ  
ホーン種等あり

ラフレーシユ種

体軀中位にして強壯なり

肉用として最も著明なり肉柔にして美味なり皮膚純白に  
して美なるが故に人之れを喜ぶ肥肉容易にして早熟なり  
且つ又飼養簡易なる種なり  
産卵數一ヶ年平均百四十顆なり  
卵は大にして一顆一匁五分内外あり

卵美味にして産卵用として又適す

クレイウケーア種

体格中位にして壯健なり然れども不良なる氣候不完全な  
る飼養は甚だ忌む所なり

肉用に適す肉美にして味可なり

産卵數一ヶ年平均七十顆なり

卵の形大にして一匁五分内外あり

母鶏となすには適せざるものとす

ウーゲン

体格中位にして發育甚だ迅速なり

骨格小にして肥肉容易なるを以て需肉用に適す味佳美なり

一年の産卵數平均百二十顆なりとす  
 卵一顆の重さ十二匁内外なり  
 産卵用として亦適すされど母鶏としては不適なり  
 プリマウスロック

体格大にして長く強健にして容貌美なり  
 氣候の變化に抗する力強く成育容易なり  
 肉柔にして味美なり加ふるに肥肉容易なるを以て需肉用  
 として適す  
 産卵數も亦多く一ヶ年平均百顆とす  
 卵大にして一顆一匁三分内外あり  
 漣波プリマウスロック、白色プリマウスロック、黑色プリマ  
 ウスロック種あり

ワイアンドット

体格大にして強健なり氣候の變動に耐へ劣等の飼料にも  
 よく耐ゆるものなり性靜順にして發育容易にして早熟な  
 り  
 肉柔らかくして汁多く味美なるを以て需肉用として適す  
 産卵數一ヶ年平均二百顆とす  
 卵は大にして一顆凡そ一匁三分とす  
 冬季に於てもよく産卵す故に産卵用として亦適せり  
 銀色ワイアンドット、金色ワイアンドット、白色ワイアンド  
 ット種あり  
 銀色のものを普通とす  
 ポーランド種

体格中位にして姿勢優美なり

雨雪に侵され易く又頭部羽毛叢生し爲めに眼を被はれ外敵の襲ふを悟らざることあり故に注意を加へざるべからず

愛翫用として適す又産卵の数も多く且つ肉柔にして美味なり

白毛冠黒色ポーランド、黒毛冠白色ポーランド、金色ポーランド、銀色ポーランド種あり

バンダン種

体格小なり姿勢優美にして性柔順なり

観賞用に適す

孵卵育雛に巧なるを以て孵育に困難なるものを孵化せし

むる母鶏に用ゐらる

セブライトバンダム、黒色バンダム、白色バンダム、コーチンバンダム、日本バンダム(チャボ)ゲームバンダム種あり、コーチンバンダム種は北京バンダムとも稱す

### 雌雄の配偶に就て

雌雄配偶の數によりて鶏に影響を及ぼすもの多大なり其肉用になすもの採卵用及び種卵用となすものにより其配偶數を異にす外國にては採卵用のものには一雄に對し雌四より五十の多數を配偶す我國にては一雄に對し三十内外の雌を配偶す即ち採卵のみに飼養するには雄鶏を要せずして産卵す但し無精卵と稱し孵化せざるものなり食用としては味に於て又滋養の點に於て他と差異あることなく貯藏するには却つて便利なり即ち有精卵に比すれば腐敗し難く二倍以上長く貯ふことを得べし然れども採卵用にも雄鶏は無論必要なり勇健なる雄雞を交ふるときは産卵を促し伏巢期を

して短小せしむ余は茲に多年の經驗により鶏の種類によりて又些少の差異あるを認めたり依てさに配偶の割合を種類により區別し之れを示さん

肉用種	平均	一雄に對し	雌七乃至十
卵用種	全	全	十乃至十七
種卵用種	全	全	二乃至三
ミソルカ種	一雄に對し	雌	十三
アングルシャン種	全	全	十二
レッドホーン種	全	全	十八
レッドカップ種	全	全	九
ツイガン種	全	全	八
ポイランド種	全	全	九

雌雄の配偶に就て

ラングシャン種	全	六
ワイアンドット種	全	七
フリマウスロツク種	全	八
スパニッシュ種	全	十四
パフォード種	全	九
ラフレッシュ種	全	六
ハンバーク種	全	十
ドルキン種	全	五
ブラマ種	全	九
コーチン種	全	九

### 鶏の老若鑑別法

経験によらざれば鶏の老若を充分に識別し難しと雖も左の諸項により大略知るを得べし先づ雌鶏に付きては若きものは脚の鱗平滑にして色鮮明なり且つ光澤を有す爪は柔軟にして短し下嘴柔軟にして鶏冠薄く且つ平滑なり之に反するものは老いたるものと知るべし

雄鶏は前と大同小異にして脚側にある距の長短及び其堅軟によりて識別する外總て雌鶏の識別法と同じ

老鶏は各部粗硬にして光澤なきものとす以上の点を心得置き數多の鶏に就て常に注意をばらふ時は容易に鑑別し得るに至るべし



## 飼 養

飼養法に放飼と柵飼との二大別あり放飼にはミノルカ種ア  
 ンダルシヤン種レグホーン種等産卵専用種を適當なりとす  
 即ち性質騒輕にして羽翼の發達甚だしき種類に適當するもの  
 なり圍庭邸宅又原野等に放飼すれば體軀健全となり産卵數  
 を増すものなり總て此種は敏捷にして外敵の來襲を早く悟  
 り羽翼強ければ容易に避難し得るなり又見馴れざる人來る  
 時は直ちに之れを同胞に報じ共に警戒するを以て盜難に罹  
 る患なし但し雛の時より放飼の習慣を付け置かざるべから  
 ず右の法を放飼と云ふ

柵飼にはブラマ種コーチン種ドルキング種ブリモースロッ

ク種等を飼養するに適す即ち肉用種及び肉卵兼用のものに  
 適す此種のもものは羽翼弱くして殆んど飛翔すること能はず  
 故に廣き場所に放つも奔走せず又人或外敵に怖るゝの念乏  
 しきを以て盜難或は外敵の害を受くること多し且つ此等の  
 種類のものをして甚だしく運動せしむるときは肉減じ脂肪  
 を失ひ其味を害す

以上述べたる如くなれば飼育する種類に従ひ鶏舎及び運動  
 場を適當に設備すべきものとす

強飼法 強飼法とは狭小なる所に閉籠め置き運動は勿論身  
 動きをも成るべく禁じ部屋を暗らくし外出の念を失はしめ  
 且つ種々の想ひをさせざる様になすかくの如くになし置き  
 大麥粉或は蕎麥粉に獸肉魚肉等の切れを混じて水にて溶き

餽飽位の堅さに練り之れを指頭位の大きさに丸め嘴を開き  
て喉に押込むべし但し一日凡そ五回與へて十四五日間程經  
過すれば肥太となり得る限り肥満す然れども或る一定の度  
より以上は肥満せざるを以て二十日程強飼したる後たいち  
に肉屋に賣るを得策とす此飼ひ方は肉を得るに用ふるもの  
なりかくして飼いたる結果は目方大に増加し十四五日乃至  
廿日間に要したる食物等凡てを差引くとも尙ほ多くの利益  
を生ず只に目方を増すのみならず肉の味を美にし脂肪を増  
加するを以て肉用となすものは其屠する前十五日間程強飼  
法を行ふを最得策なりとす

## 鶏舎の構造

鶏舎は土地乾燥清潔にして空氣の流通よろしき處に南向或  
は東南向に建設し温暖なる様注意すべきなり屋根は藁若く  
は茅を以て葺くを最も佳とす四壁は土壁或は板張りとなす  
べし戸締は嚴重になし猫狐鼬犬等の外敵の侵入並盜難の注  
意をもなし置かざるべからず鶏舎の高さは人の出入を防げ  
ざるを度となすべし多數飼養するには舍内を適當の小區に  
分割すべし今百羽の鶏を飼養せんと欲せば間口二十間奥行  
一間半なる鶏舎を作り二十に區劃し前面一坪を運動場とし  
奥の半坪を寢室及び食事場用となすを便利とす空地多き所  
或は竹林所有者は空地竹林の垣を密にして茲に放てば昆蟲

等を捕へ食ふを以一層宜ろし且つ鶏舎は單に産卵所及ひ寢室となすに止まるを以て至極便利なりされど雨天運動場のため鶏舎を比較的大に作らざる可らず冬は鶏を日向にさらして運動せしめ夜は寢屋の周圍を蓆等にて被ひ寒氣を防ぐべし夏は日覆を設け日蔭にて遊ばしむ又糞或は粗糠を撒きて濕氣と寒冷とを防ぎ石灰を撒布して消毒すべし  
 時杆(棲架)は後壁に沿ひ凡そ二尺離れて地上より餘り高からざる所に設く殊に肥大なる種類のは時杆を高處に設くべからず時杆は自然のまゝの木を用ひ竹若くは削りたる木を用ふべからず時杆の下凡そ四五寸の處に板の棚を作り之れに糞を受け毎朝の掃除に便にす板棚の下は産卵所とす

### 産卵箱

板棚の下に一尺に一尺三四寸高さ五寸餘の箱を作り適宜の敷を置き其中に柔らかき糞を布き中央を凹くす之れ産卵する所なり箱内の糞汚るゝ時は羽蟲を生ずるを以て豫め硫黄末を撒布し置くべし若し別所に産卵所を設けんと欲すればなるべく人通りなきところを撰び餘り明るき所は避くべし又箱には蜜柑箱又は石油箱を以てするも便利ならん

### 砂浴場

動運場の一隅に粗らき砂の乾燥せるものに木炭石灰硫黄末を混じたるものを椀木にて圍ひ厚さ五寸位ひに布くを可と

す其砂木炭石灰硫黄の混合割合は大略左の如し  
砂一〇〇、木炭二、五硫黄米一、五石灰一、

### 食事箱

食事箱は板の箱を良とす其形は適宜なるも轉覆せざる様に作りあまり深きものは宜ろしからず又鶏中に入りて食物を穢すを以て頭頭の外入れること能はざる様に細き木をうちつけ頭のみ差し込みて自由に食はしむる様に作るを尤も便とす  
以上は練餅を興ふるに多く使用す散餅を給ふるには別に要せざれども平常より食事箱にて食はしむる習慣を付け置くをよしとす、

### 鶏の飲食品

鶏の食餌として採るべき者は多けれども其土地によりて得易きものと得難きものとあれば適せるものを選びべきなり  
大略左の數十種なり

燕麥	小麥	大麥	蕎麥
米	粟	稗	黍
粳	碎米	玉蜀黍	大豆
糠	麩	飴粕	豆腐粕
甘藷	馬鈴薯	昆蟲	獸肉
鳥肉	魚肉	貝肉	貝殼
陶器粉末	青菜	青草	清水

鶏の飲食品

七十  
碎米碎麥稗等は育雛用としては至極便利なり成長せる鶏には細小に過ぐるの患あれば練餌の中に混じて與ふるを可とす燕麥大麥小麥等は良餌料なれども價高きを以て常食とせしむるを得ず故に時々與へて鶏の勢力を増進せしむべし又獸肉鳥肉魚肉等は大に必要なる餌料なれども價甚だ高きものなるにより鼠野猫野犬むぐらいたち等を捕へ其肉を與ふるを便利とす獸類魚類鳥類等の頭尾鱗鱗鰭腸骨臟腑等は有用なる餌料なれば細かに切りて與ふべし一週に一度位ひは必ず給するを宜ろしとす貝類の肉及び殻は有用なるものなり打ち碎きて穀と肉と混合せるものを與ふるを可とす米大豆粟黍玉蜀黍等は脂肪質に富むを以て冬季の飼料として宜ろし又肉用鶏に與ふれば大に肥満し且つ脂肪に富むを以て甚

だ宜ろし夏の期に於ける採卵用鶏には之れを多く與ふべからず脂肪集積し産卵の數を減するの恐れあればかり昆蟲類其甚だ好むものなれば塵棄場等を攪發して昆蟲を啄食せしむべし  
青菜青草は必要欠くべからざる餌にして其新撰なるものを與ふべし摺餌にも青菜青草を加へて練るべきものとす菜葉は普通の種類のものとは總て食ふが故時節のものを採り與ふべし青草にてははこ草蛙草(ぎやり)共に初夏の候より溝のほとり竹籜のほとり等に生ずるものなり甚だ鶏の好むところなり其他烏豆堤防等に生ずるものにして豌豆に似たるものなり又葛葉甘藷の莖葉等なり雜草の中には極めて有毒なるものあれば注意すべきなり殊に鬼芹は其甚だしきものなり

り鬼芹を食せしめ鶏を斃れしめたる例多し心得置くべし  
 清水は常に與へ置くべし鶏は足を掛け覆すが故に注意して  
 轉覆せざる様なる器に入れて與ふべく又穢し易きを以て毎  
 朝掃除し水を入れ替へるべし冬季は清水の中に胡椒蕃椒等  
 を少量づゝ入れて與ふるを可とす  
 貝殻は卵の殻となるものなれば欠くべからざるものなり貝  
 類にては蠣殻を最良とす先づ貝殻を焼きて後臼にて搗き碎  
 き食餌の中に混入して與ふるを宜ろしとす若し貝殻等の石  
 灰質のものを與へざるときは軟卵即ち卵の殻を作らずして  
 薄皮のみを以て被へる卵を産むの恐れあり  
 陶器の粉粉及び砂礫等は鶏の消化に必要なものなれば折  
 り餌中に混入して與ふるを宜ろしとす

概して氣候温暖にして産卵の多き時期には動物質の如きも  
 の即ち蛋白質に富むものを多く給與して脂肪質及び澱粉質  
 を減すべく寒濕の時節には之れに反して脂肪澱粉質を含む  
 ものを與へ脂肪を増加し體温を具高せしむべし換羽期には  
 特に動物質を多く含むものを與ふるを可とす

## 食用卵の貯藏法

卵の高價なる國と廉價なる國とは如何なる點に於て差異を生ずるかと云ふに食餌の高價なると廉價なると土地の高價と廉價需用者の多少に關すると雖も其大部分は貯藏法の完備不完備に基するものなりかの支那より輸入するものゝ如く送るに多くの費用を要するも尙ほ廉なるは貯藏法の宜ろしきに非ざれば決して能はざるなり故に養鶏家たる者は卵の貯藏法に重きを置かざるべからず左に之れを記さん

其最も簡易なる方法は石灰水の中に貯ふ石灰水は凡そ水二斗の中に石灰五升食鹽一升の割合に入れよく混和したるものを用ふ卵を此液の中に漬けて貯ふるものなりかくすれば

夏なれば一ヶ月冬なれば優に二ヶ月間貯ふことを得卵を運搬するには粗に前述の石灰水を浸し其中に卵と卵と接せざる様に入れて送るを可とす

又自宅にて食用になすもの等を貯ふには震動するところを避け日光に觸れしめず成る可く暗所に置くべし而して箱等に粗糠を入れ其中に卵の尖りて細き方を下に立て、安置すべし決して卵と卵とは觸れしむべからずかくして涼しき所に置く冬はあまり寒冷なる所は避くべし

古來用ゐし貯藏法は小豆米等の中に貯へ或は川砂食鹽等の中にに入れて貯へたり之れ一の良法と云ふべし此貯藏法によれば二週間位は貯ふことを得べし

### 卵の新舊を知る法

卵をとり日光に透視するとき全體透明なるものは新鮮なる卵にして暗濁なるものは腐敗したるものなり又卵の端の大きなる方の空虚なる所の小なるは新撰にして空虚大なるものは舊きものなり空虚は日を経るに従ひ漸時大となるものなり之れ卵の内の水分蒸發して減少するを以てなり

### 伏巢の念を絶たしむる法

伏巢の念を忘棄せしむるには石炭質及び動物質の餌料を多く與へ強壯なる雄鶏と共に稍々大なる伏籠の中に伏せ或は巢箱なき場所に雄鶏と共に遊ばしむれば數日ならずして蟄巢の念を放棄すべし又蟄巢せる鶏を捕へ水中に投ずべし但し忽ち上ることを得る所ならざるべからず然らざれば死に至る恐れありかくの如くして其腹部を冷却すべし若し適當なる水溜なきときは水を其腹部に注ぎて冷すべし一日三四回行ひ三日を経ば伏巢の念を去るべし或はタラヒ等に伏せ置く時は數日にして放棄すべきも窒息せしむ恐れあれば行はざるを可とす

卵の新舊を知る法 伏巢の念を絶たしむる法



### 羽蟲驅除法

羽蟲は至つて生じ易く且つ鶏に多大なる害を能ふるものなれば常に注意して之れが豫防をなさざるべからず第一砂浴場を缺くべからず砂浴場は常に清潔になし置くともた産卵箱及び寢屋はなるべく清潔にすべし若し羽蟲の生せることを發見せば埒杆及び寢屋の床並に周圍を石油にてふき鶏の足に石油を附着せしむれば羽蟲は石油の香に堪へずして漸時上昇して頭部或は頸部等に輯集すべし此時除蟲粉末或は石炭酸の六十倍位ひなるものを散布し殺滅せしむべし鶏にして砂浴することを知らずして之を行はざるものに羽蟲の生せる場合には其鶏を水中に投じ羽蟲を落さしむ

### 鶏の病に就て

醫學大に進歩したりと雖も尙ほ幼稚にして殊に禽獸の病に就ては大に困難を感ずる所なり余の無學如何で此の問題を述説するを得んや然れども目下頻りに實驗しつゝあれば遠からず之れに就て報導することあるべし總て病は不潔不攝生より生ずるものなるが故に鶏舎を清潔にし濕潤を防ぎ又寒冷ならざる様注意し尙空氣の流通を佳良ならしめざるべからず若し一段病にかゝりたる時は他鶏と嚴重に隔離し消毒をなし温暖にして乾燥せる處に移し食器等は勿論別々になすべし今知り得たるものを左に列記し參考に供せん

## 鶏冠の疾病

鶏冠の白色に變じ黒き點を生ずる等は之れ鶏冠の病にして殊にコーチン種に多く發生するものなり此病發生するときには脚部の腫脹を來すこと多し然して遂に衰弱し斃るゝに至るものなり其原因は主として鶏舎の不潔狹隘飼料の不足空氣の流通悪しきによる之れを治するには該病鶏を溫暖なる所に移し滋養多くして比較的淡薄なるものを食せしめ患部にアルコールにグワスリンを等分に和したるものを一日二回づゝ塗るを良とす但し先づ稀薄なる石炭酸にて洗ひ然る後塗るべきものとす又寢前に甘汞〇、〇四瓦を服せしめコロシキエームを二滴計り毎日一回宛服用せしむるを可とす然

するときは數日を出でずして全治すべし

## リウマチス病

此病に罹るものは歩行不自由となり遂に衰弱して斃るゝに至る其原因は人類に於けると同じく冷濕に冒されて發生するものなり早朝未だ露の消えざる時に草の間を逍遙せしむれば本病に罹ること多し治療法は暖かなる所にて靜かに寢起せしめ脚を芥子湯にて溫め或は芥子を塗附するを可とす

## 鼻加答兒症

此病に侵さるゝときは鼻孔より粘液又は水の如き稀薄なる液を漏出し眼瞼漸次に腫起して顔全部に及ぶ其原因は主と

して冷濕に胃されて發する風邪の如き病なり故に之を治するには温暖にして乾燥せる所に移し滋養物に唐辛胡椒の少量を混じて與ふるを宜しとす

### 食 滯 病

多量の食物腸囊中に停滯し胃に通下せざるものなり之れは蠣殻砂粒等の供給不足なるか又は非常に大なるものを嘔下せるによる其輕症なるものは比麻子油或は亞麻仁油等を少し計り飲ましめて腸囊を柔らかく揉みて胃囊に下す可し重症なるものにありては鋭き小刀を以て腸囊を切開し其停滯したる物を除去し清水にて洗ひ創口を縫合して静養せしむべし二三日間は食物を温めて消化良好なるものを與ふべし

比較的早く治癒する病症なり

### 咽 喉 病

此の病は咽喉部に痰の如き粘液溜りて呼吸を害するを以て呼吸の際ゼロゼロと音をなすものなり之れを治するには葱を揉みて玉となし鶏口を開きて水にて嚥下せしむること一日三回とすかくすれば五六日にして治癒するを得べし

### 下 痢 病

此の病は水の如き糞をなし甚だしきものは食餌を不消化の儘にて下痢す其原因は飲食の不良鶏舎の不潔或は雨中を徘徊せしめたるより發す之れを治するには米の粉麥の粉等を

腸の病に就て

明礬水にて解き摺りて少量の胡椒を混じて搥餌となして與ふれば數日ならずして全癒すべし粉は粗なるものを用ふるを可とす

### 骨折

骨折は多く脚及び兩翼に於てす鶏自身の過失或は外敵の爲めに害せらるゝによるものなり折骨するときは稀薄なる石炭酸にて洗ひ薄き板二枚を折部にあて其上を綑帶し三週間は其儘籠中に運動を禁じ置くべし食餌は消化し易きものと與ふべし然らざれば他病を併發すること往々之れあり

### 難産

産卵に苦しむものは若雌鶏に多し卵大にして輸卵管を通過し難きによるかゝる時は鶏は頭を直立し尾を垂れ胸を張り其状苦痛を示せり之れを治するには羽或は細く軟らかなる筆にオレジン油を侵して徐に産道に入れ卵に達せしむ若し一回にして産出せざればまた行ふべしかくするときには卵油の爲めに下り産出するかゝる場合には脂肪に富める餌料を多く用ゐざるを可とす  
養鶏になれざる人は稍もすれば少し病に罹りたる鶏はたゞちに撲殺すれども之れ大なる損失なり宜ろしく自然に治療せしむべきなり

鶏の病に就て

# 附 録

八十六

## 養 鶏 の 業

養鶏事業に成効せんと欲せば年中四季の氣候の變遷に随つて相當の手當をなし其管理取扱の方法を知らざるべからず此業に失敗せる者の大方は年中同一の飼方をなし氣候の變化に應じて適當の注意を與へざるに基因するものなりされば左に一年十二ヶ月を月々により注意すべき事項を掲げ以て養鶏家の參考に供す

### 一 月

此月は一年中最も寒氣烈しき月なれば鶏舎の外부를藁藎等にて覆ひ舎内には藁糶糠等を澤山に入れ防寒の用になす加之朝は餘り早を戸を開くべからず日光の映するに至りて開戸すべし曇天には朝九時過に戸を開き雨天の日には戸を開かずして鶏舎の内にて食餌水等を與へ雨水に逢はすべからず降雪の時も同様に舎内にて飼養す然らざれば雪を啄みて下痢を起すに至る又飲水を給するには朝は日光の映じて後暫らくして給ふべし夕方戸締をなしたるときは飲水器中の水は一滴も残さず取り棄つべし然らざれば夜中凍りて翌朝之れに更に水を加ふるときは非常に冷たき水となる又氷を

取り除くは困難なるにより必ず夕方に棄除し置くべし  
 冬季は青菜青艸乏しきを以て豫め用意し置ま決して之れを  
 欠くべからず青菜青草を興へざるときは産卵数を減じ体軀  
 の發育を害す殊に一月は換羽漸く終りたる時にして身体疲  
 勞せるにより充分滋養分を興ふべし  
 冬季は鶏の産卵するや卵を直ちに取り去り貯藏箱へ貯ふべ  
 し貯藏箱は暖かき所に置くを宜しとす

## 二月

尙ほ寒冷なるを以て一月と同じ取扱をなすべし此月より春  
 季孵化を始む然れども未だ産卵渺々しからずして巢鶏を得  
 ること容易ならず故に孵卵器を使用するを便なりとす二月

より三月までに孵化せしむれば前述の如く入梅の季節の至  
 る以前に雛百日以上となり害を蒙ること甚だ渺なし故に孵  
 卵せんと欲せば孵卵器を使用して此の好季を利用すべきな  
 り巢鶏を作るには竹の目の粗き籠に藁を布き其上に藎を敷  
 きて卵を並べ母鶏に抱かしむ籠は土間に置き相當なる土地  
 の濕氣を得しむ然るときは好結果を得らるべし

## 三月

此月は雛を飼育するに好時節なるを以て食料を貯へをき此  
 時に乘じ大に養鶏を擴張すべきなり  
 追々暖氣を加ふるを以て舎側の覆を減じ柵には糸瓜等蔓の  
 生ずるものを植付け初夏の暑さを防ぐ用意をなし置き三伏

の節には葡萄等を以て陰影を與ふる様になし置くべし

九十

#### 四月

雛の孵化は此月中は尙ほよしとす即ち梅雨の節までには五六十日位経ちたれば其害を受くること稀なり  
雛の生長するに従ひ漸時之れを幾組かに離け柵飼なれば一坪五六羽の割合より多に過るべからず但し此の雛は五六十日位ひのものとする故に尙ほ一層生長せるものは夫れより少なくすべし然らざれば發育に害あるべし  
此頃より糞の棄除を怠らざる様に注意すべし羽蟲の生ずる患あればなり殊に此月より暑氣に向ひ羽蟲盛んに生ずるものなり又此月頃は就巢の念を盛んに發するものなれば前述

の方により之れを放棄せしむべきなり

#### 五月

此月は最も忌むべき梅雨の候に近づけるを以て孵化せしむることは中止すべきなり  
曇天打ち續き五六日に至り冷氣甚だしきときは飼舎内に焚火或は炭火を入れ暫時室内を暖め且つ乾燥せしむべし  
此頃は充分に滋養物を與へ体力を充分に養ひ梅雨の候に耐ゆる様になしをくべし

#### 六月

梅雨の季節となるを以て濕潤甚だし故になるべく乾燥せし

むる様注意せざるべからず舎内に布ける藁筵等をば日々取り替へ不潔に陥らざる様になすべし

梅雨中は糞を乾かすに甚だ困難なり故に糞の干場を作り茲に擴げ置くべし蓆等に包み置く時は虫を生じ且つ肥料の効力を減するなり

七月

此月に至れば梅雨既に上りて晴快なれば産卵數を増す故に石灰質を多量に給ふべし  
漸々暑氣甚だしきに至るを以て日陰を作り鶏舎を清涼にならしむべし又蚊の多き地方には蚊張の内に寝らしめ蚊の爲めに傷を蒙り腫物とならしめざる様になすべし

暑氣甚だしきに従ひ食物腐敗し安きを以て注意を要す孵卵も此月より始むべし

八月

此月は酷暑なるを以て朝は早く戸を開き夕方は遅く閉すべし日の入りたる後暫時冷氣を通じ然る後戸締をなすをよしとす鶏は暑氣の爲めに疲勞し産卵數を減じ且つ換羽期となる以て滋養分を多量に與ふべし換羽は鶏一ヶ年中の大厄にして此厄中は産卵を休む

此頃は暑さの爲めに飲水温まるを以て一日二回位ひ冷水に取り替へ日光の照さる所に置くべし青菜青草は新らしきものを絶えず給ふべし枯れ易きを以て注意を要す



青菜は春蒔のもの此頃まで使用し得又此月より十月頃迄漸次播種すれば翌年三四月頃迄青菜欠乏の患なし

九月

此月は換羽に罹るもの次第に多く親鳥は殆んど休産す故に滋養分と産卵に必要な食料とを給へ産卵を早く始めしむる様になすべし  
追々穀物等收穫の期なれば鶏一ヶ年中の食物の買入をなし置くを便なりとす又川魚の多く漁せらるゝ時なれば之れを漁し焼き或は干して貯へ冬季の需用に供す

十月

追々短日となるを以て夕方宿り餌を充分に與へざれば夜長きを以て夜半に於て既に空腹を感じ朝に至るまで長時間の空腹なるときは大に發育を害す故になるべく遅くまで拾ひ餌をなましめて寝に就かしむべし宿り餌は充實せる粒穀を給ふるをよしとす  
七八十月は昆虫多きときなればなるべく之れを求めて食ましむ

十一月

此月は追々寒冷に向ふを以て防寒の用意をなすべし  
稻の收穫時季なれば糶(シイナ)を多く買ひ求め置くべし糶は産卵に尤も必要な餌料なり

十一月上旬より孵卵は中止するをよしとす寒冷の爲めに雛の發育面白からず  
 青菜の霜覆をなし枯死せざる様に注意をなしをくべし

## 十二月

此月は寒氣日に酷しくなるを以て防寒を十分ならしむべし  
 鶏舎の窓及び板の節孔割れ目等を塞ぎ尙ほ止り木には莖細等を巻きて趾の凍傷を防ぎ且つ朝夕の戸の開閉をも加減し  
 食餌も脂肪質のものを給へ胡椒葱蒜等を少量宛給ふるをよしとす

鶏を屠殺用に賣り拂ふには收利の見込なきものを選別し休  
 卵期に於てなすを利益とす即ち十月頃孵化せるもの既に産

卵を始むるを以て此時老鶏を賣り拂ひ新陳すべきものとす  
 以上一年十二ヶ月の行事を心得え四季の變遷に注意し以て養鶏の業に成功せられん事を望む該業家の仲間にては此  
 鶏は多く産卵すと云はずして彼の人には多く産卵せしむと云ふ實に肥肉産卵數の多夥は飼養法の如何によるものなり  
 讀者本書により得る所ありたれば著者の喜び之れに過ぐるものあらざるなり

252  
885

明治四十年五月二日印刷  
明治四十年五月五日發行

著 作  
權 所  
有 者

著述者

磯 兼 元 治

東京市麻布區仲ノ町十一番地

印刷者

笈 田 吉 松

東京市京橋區新宮町一丁目六番地

印刷所

笈 田 活 版 所

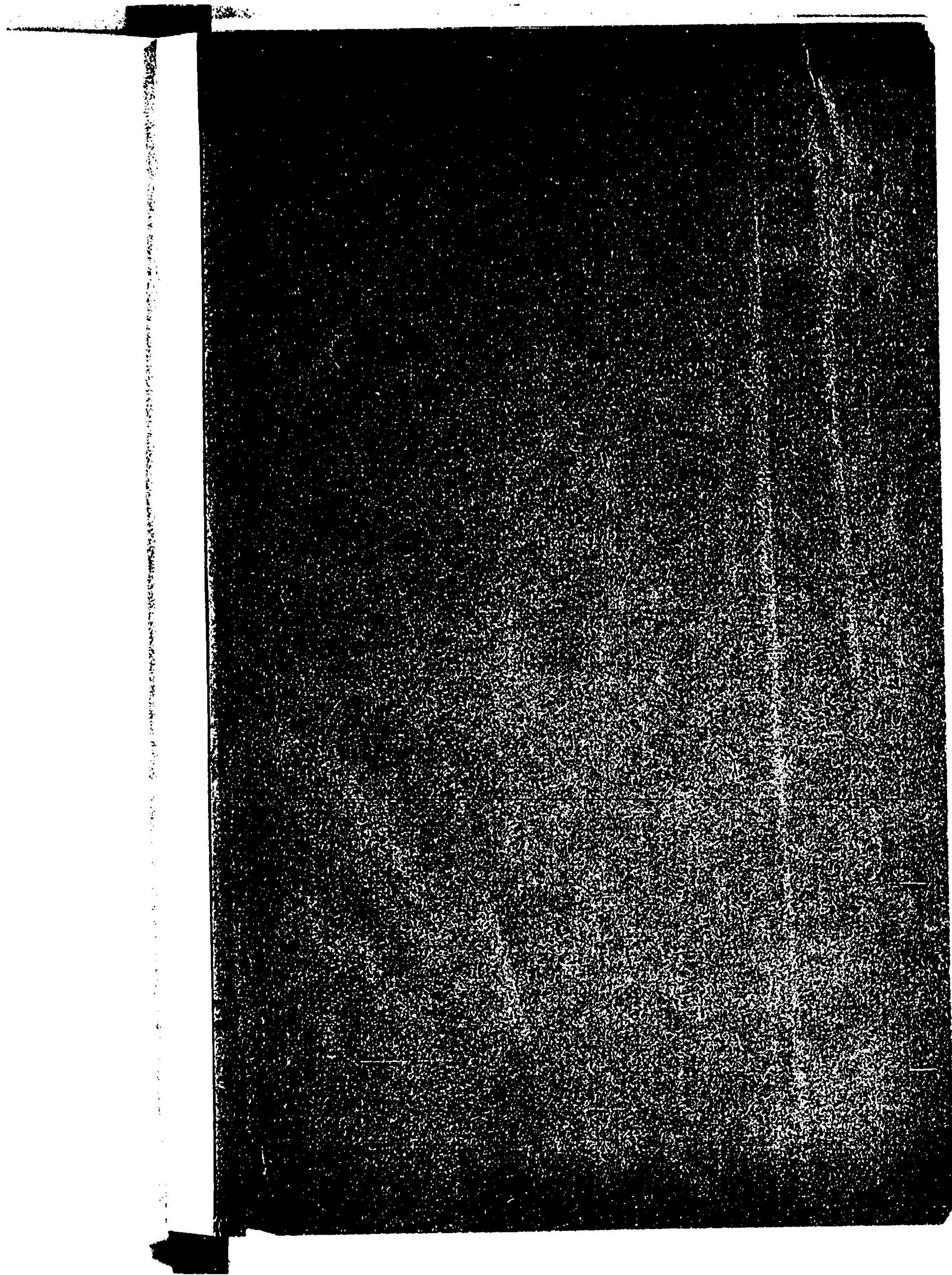
東京市京橋區新宮町一丁目六番地

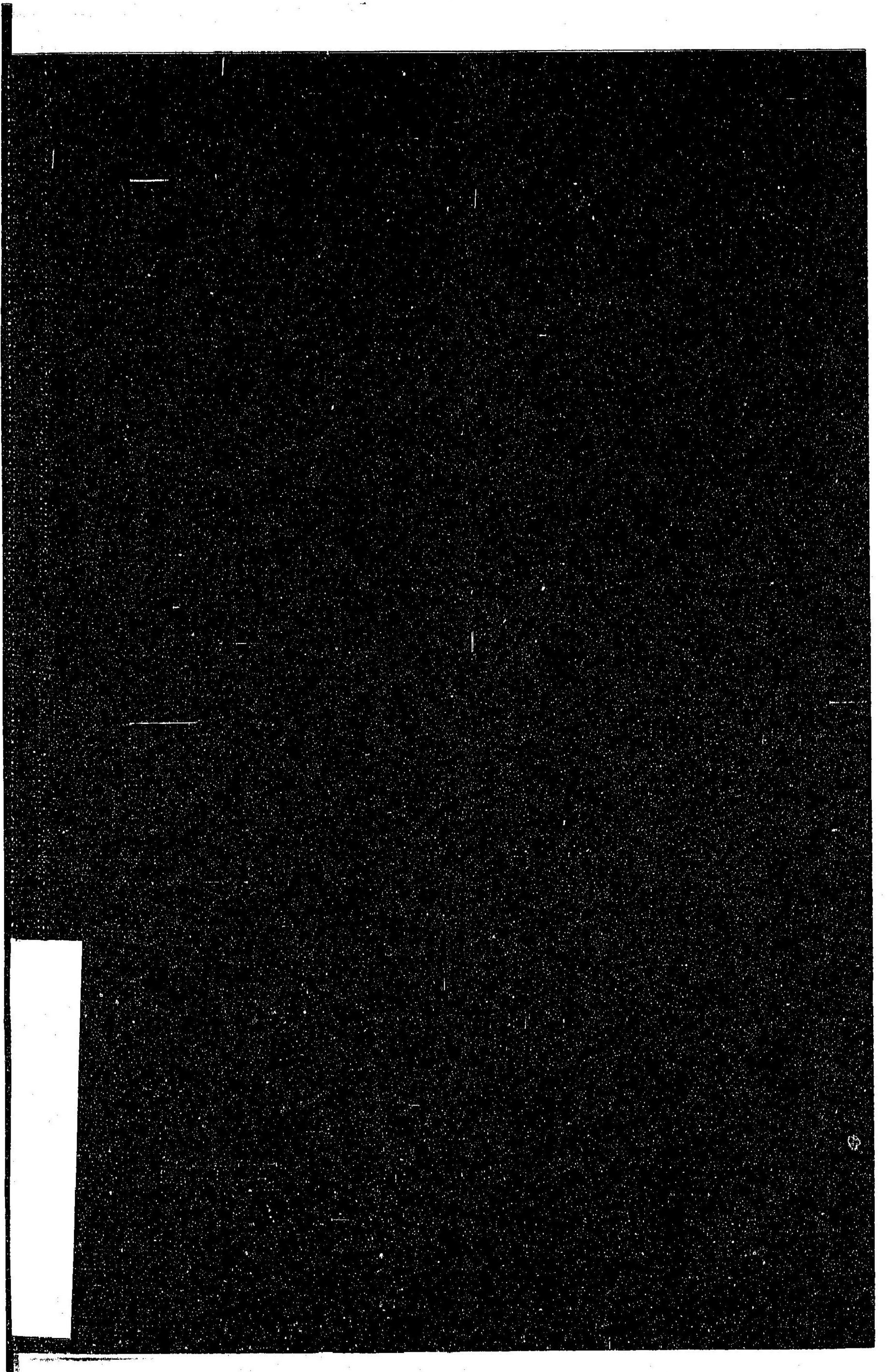
東京市麻布區仲ノ町十一番地

發行所

株式會社 全國農事用達所

定價五拾錢





特 24  
907

实用 孵卵器 育雛器 自宅製造法  
磯兼 元治  
国立国会図書館

064800-000-8

特24-907

实用孵卵器育雛器自宅製造法

磯兼 元治 / 著

M40

CCD-0252

